

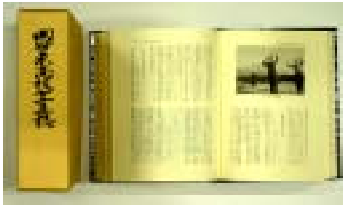
# 東 高 懐 古

創刊号

## 発行にあたり

本校は今年、創立 90 周年を迎え、10 月 26 日(土)には、記念式典が催されます。

そこで、我々の母校「長野県岡谷東高等学校」の歴史を考えてみるきっかけになればと思い、このような紹介紙を  
発刊するにいたしました。



ここに載せる記事の多くは、左の写真にある「岡谷東高校七十年誌」(1000 頁弱に及ぶ)に拠ります。

## 創立～岡谷市の誕生まで

明治 45 年 平野村立農蚕学校開校(男子 62 名入学) 岡谷小学校山校に校舎借用

大正 2 年 上記学校に女子部設置(2 年編入も含めて 34 名入学) **岡谷東高校の産声**

メモ

大正初年の学校教育(農蚕学校新設書類)  
本校女生徒ニ対シテハ全然昇降口ヲ異ニシ且ツ控場運動場等ニ  
至ル迄各別ニ区画シ教室ハ勿論別室トシ常々男女ト接近セサル事

大正 2 年 校舎建築

右写真 女子部第 1 回卒業生(部分)

メモ 見積もりによると工費 16982 円(授業料月額 50 銭の時代)



大正 3 年 小幡勇治初代校長着任

メモ

小幡校長は製糸業地として栄えつつあるこの地方の女子教育として実科  
高等女学校の制度による教育が適切であると村当局や村内有識者を説き  
回りその実現に向けて奔走した

大正 4 年 11 月 村立平野実科高等女学校誕生(編入試験により 1～3 年まで計 44 名)校舎は平野農蚕学校を借用

大正 6 年 農蚕学校甲種昇格と「平野実科高等女学校建築」を併願

大正 8 年 平野実科高等女学校竣工

メモ

- 1 最終請負額は 22500 円だったが、物価急上昇(米騒動の時期)で材料調達に問題がおり予定より半年遅れた
- 2 この頃「デモクラシー」という言葉が流行し、校風改善を主目的とした「矯風会」が農蚕学校に生まれる。

大正 9 年 村立平野高等女学校と改称(高等女学校令の改正による)

大正 11 年 溝口校長就任 メモは校長の三訓(当時の教育がうかがわれます)

メモ

- 1 希望向上の生活 人生は無限向上の道程である。高遠なる理想を持って、無限向上の一路を驍進してほしい
- 2 努力活動の生活 社会は無限活動の舞台である。やわ肌の処女といえども、堅実な志操を持って努力し...
- 3 感謝奉仕の生活 人は無量奉仕の聖体である、処女は純潔な感激と清き涙の持ち主である、...

大正 11 年 村立諏訪蚕糸学校(現・岡工)が県立となり、平野高女県立移管の世論が高まる。

大正 15 年 平野高等女学校、県立移管。新校舎建築へ

メモ

請負額 約 20 万円

昭和 3 年 本館竣工

第二というのは苦い思い出だったようです

昭和 4 年 長野県立諏訪第二高等女学校と改称。(他の女学校で村名を残していたものがなかったため)  
奉安殿建設(御真影と教育勅語を納め、職員生徒が登下校ごとに最敬礼をした。終戦直後に撤去)

昭和 11 年 平野村が廃止され岡谷市が誕生  
校名を岡谷高等女学校と改称